

|   |                                 |            |                          |
|---|---------------------------------|------------|--------------------------|
| <b>第4回 第2分科会会議録（概要）</b>   |                                 | <b>場 所</b> | 新宿区役所 第2分庁舎<br>1階 1-⑦会議室 |
| <b>日 時</b>  | 平成17年8月13日<br>午前10時00分～午後12時00分 | <b>記録者</b> | 【学生補助員】<br>長島 草刈         |
|   |                                 | <b>責任者</b> | 区事務局（青柳）                 |
| <b>会議出席者：</b> 43名 傍聴者 4名<br>（区民委員： 37名 学識委員： 2名 事務局： 4名 ）   |                                 |            |                          |
| <b>■配付資料</b><br>1 第4回 新宿区民会議第2分科会 次第<br>2 第3回会議概要<br>3 ワークシート記入例<br>4 次回開催通知  |                                 |            |                          |
| <b>■進行内容</b><br>1. 開会<br>2. ワークショップの説明<br>3. グループ討議<br>4. 閉会  |                                 |            |                          |
| <b>■会議内容</b><br><b>【発言者】 ●：区民委員 ◎：学識委員 ○：区事務局</b><br>1. 開会<br>○：これより、第2分科会第4回を開催します。<br>第3回分科会の終わりにお願いしました世話人の件ですが、今後は、第2分科会の運営、各回のテーマ、スケジュール等については世話人の方と一しょに考えていくこととなります。8月9日（火）に世話人と学識委員、区事務局との最初の打合せが行われましたので、簡単にご報告します。<br>まず、区民会議、第2分科会の目的、役割と今後のスケジュールについて、第1回全体会でお配り資料に基づき再確認しました。参考までに皆さんにも再度お配りしました。<br>2月の中間のまとめに向けて、テーマごとに、基本構想や基本計画の目標年度である10年後、20年後を見すえた検討を行なっていくことで了承を得ました。<br>また、検討に当たっては、やはり6月の全体会でお示ししましたルールを守って楽しく検討していきたいと思えます。<br>次に、今後の検討についてですが、検討を効率よく行うために、毎回次回のテーマについて示すこととしました。<br>さらに、世話人の打合せですが、当面は、第2土曜に検討会を行う週の火曜日の午前 |                                 |            |                          |

中行うこととしました。できる限り各班から1名は参加していただきたいので、調整をお願いします。

2. ワークショップの説明

◎：本日は、前回に引き続き「介護」をテーマにグループ討議を行います。最初に配付しました進行表にそって進めていきます。なお、本日は発表は行いません。

これからのグループ討議を進めるに当たっての留意事項について、配付しました「ワークシート」記入例に基づき説明します。今後の検討にあたっては、提言としてまとめていくことを前提に、イメージを具体的な言葉、文章とすることが求められます。この点についても考えながらグループ討議を行なってください。

なお、次回は本日各班ごとに整理した問題点の解決策を討議していくこととします。そこで、皆さんには次回まで自分の答えを考えてきてください。

3. グループ討議

【1班】

| 〈自己管理〉  |  |   | 〈地域貢献〉                                    |   |  | 〈介護問題〉  |  |   |   |
|---|--|---|---|---|--|---|--|---|---|
| ・病気になる前に生き生き暮らす   | ・毎日の生活にメリハリを持ち3食きちんと食べる                          | ・自分自身で身体に気をつけてなるべく他の人の手をわずらわせない様にしたい。頸椎、腰椎が悪いけど、水中歩行をして治すよう主人は脳梗塞でたおれたことがあります。三日で治療し十日で退院しましたが、コレステロールのせいでしょうか時々転んだりしますので全面的に私が面倒を見ることになると思いますのでその場にも自分自身を注意して守って行きたい | ・社会活動に参加したい                               | ・西戸山地域全般のお目付役(特に青少年向)   |  | ・家族が介護を必要とする場合  |  |   |   |
| ・自分のことは自分でできる!!   | ・体力維持のためスポーツに参加                                  |   | ・誰かの役に立つことを続けていきたい                        | ・少年野球指導者の指導者  |  | ・家族の介護問題  |  |   |   |
| ・今の生活を維持したい(健康面、経済面)  | ・介護、支援状態を回避する                                    |   |   | ・長い間医療関係ついていたので何か役に立てたい<br>グループでうごきつなぎ 語り合う<br>ケースの話よくきき給得行く お世話したい | 実家が田舎なので静かにくらしたい<br>現在しみじみ深く考えています<br>10年後 自分のこと | ・住居の問題<br>↓<br>構造の問題<br>バリアフリー                                  |  |   |   |
|   |  |   |   |   |  |   |  |   |   |
| 「ラジオ体操」をベースにしてもう少し運動の量、質を上げる                                | 健康維持というのは運動のみでなく日常生活の中で健康を維持する方法を探す。例えば、食事睡眠趣味休養 | 食事(食)の問題<br>↓<br>自分の生活状況に見合った食料を手に入れることのできる街(商店街)づくり  | コミュニケーション<br>挨拶                           |   |  | 〈介護する側〉   | 〈介護される側〉   |   |   |
| 年金がへり何かと制度が変わり困ります やがて小グループに入り毎週しっかり食べ、足腰弱めず、1時間程度歩き元気で行きたい | 病院が多いので気軽に行ける。悪くなってから病院に行くのではなく事前に自己管理しやすい       | 1人ぐらしの高齢者の食、健康、地域との関わりが生まれる   | 近隣の中で(グループの中で)指導出来る「人」の育成(運動のセオリー 身体のケア等) | 子どもに世話になる状況ではないと思うので地域で一人でも暮らせるよう                                   | 定期的なグループによる身体動かす                                 | 介護予防の充実<br>・食育<br>医療との連携<br>・(保健(健診))<br>・若年期からの疾病予防<br>・バリアフリー | 家族負担が過大にならないような通所サービス等充実<br>介護してきた人を亡くした際の喪失感に対するケア<br>介護者の自己管理の方法<br>息抜 趣味 スポーツ ストレス マネジメント | 社会的に介護の充実とてさせつなサポートが欲しい。(例: 病氣、ケガ等になった場合すぐ対応できるように)<br>私も姑と他人ですが老後の方の面倒を見て来ましたが本人自身もこちらをたよってしまわずで大変です。本人の意思も自覚してもらいたい自分自身もその心算で生活して行きたいです | 在宅(生活の質向上)医療との連携健康状態維持のため医療系スタッフ 人員 能力 充実による心身の改善 |
|   |  |   | それぞれの個人に合った健康維持の方法の提供                     | すぐ隣の人が助けてあげられる地域社会  |  | 介護疲れによる自殺や心中事件などの予防   | 住居の問題をうけて、区といった行政のサポート(改造等)⇒在宅生活のため  | 在宅介護を希望しているけど病院や施設に入ることが多い  |   |
|   |  |   | 遠くの親せきより近くの他人                             |   |  | 介護者のケア<br>介護する人の相談にのる   | 介護者の知識<br>・高齢者特有の心理とケアの仕方<br>・様々な疾病の管理の仕方  | 地域の支え充実   |   |

【2班】

|                            |  |                          |                    |                       |                  |                |  |  |                      |              |
|----------------------------|--|--------------------------|--------------------|-----------------------|------------------|----------------|--|--|----------------------|--------------|
| 父が定年退職をする                  |  |                          | 高齢者による障害者支援        | 地域との関わりを大切に           | 高齢者が気軽にすぐに行ける場作り | 興味のあることをドンドンやる |  | ・日僱生活—自分の身辺りのことはできるだけ自分で処理し、<br>・力仕事などは人に頼んでも、<br>・社会に役立つ役割を果たしたい(障害者の社会的自立支援) | 生活習慣病予防              | 骨折、転倒に気を付ける  |
| 家族の介護問題                    | 人それぞれに思う気持ちがあるので、介護のやり方も必ずしも心につくことが介護の基本でしょうか？ |                          | 障害者の力を活用(高齢者支援)    | 仕事をしながら技能向上をする場作り     | 男性が気負わず過ごせる場作り   |                |  | ・子ども世帯と一緒に暮らし、孫の世話を楽しく暮らす  | 介護を受けず、すむように食生活に注意する | 健康維持(定期健康診断) |
| 家族の介護をしている                 |  |                          |                    | 近くに高齢者が楽しめる場所をたくさんつくる |                  |                |  |  | 身体的な健康維持             | 足腰をきたえる      |
| 夫の介護問題                     |  |                          | 子育て、介護があっても仕事を続けたい |                       |                  |                |  |  |                      |              |
|                            | 初期の段階でデイサービスなど利用して、痴呆の進行をおくらせる                 | 介護保険制度外でも、質の高いサービスを作る    | 子育てと祖母の介護の時期が重なる   |                       |                  |                |  | 自分の趣味をもって自由な時間を楽しく過ごす  |                      |              |
|                            |  | 介護保険を使い介護者の負担を少なくするようにする |                    |                       |                  |                |  |  |                      |              |
| 誰の世話にもならず世のため人のためになる様に生きたい |  |                          |                    |                       |                  |                |  |  |                      |              |

【3班】

| 健康  |                                       |                     | 協働と住民参加        |                      | 行政                        | 社会保障制度                | 介護予防  | 介護者介護サービス                          | サービス・施設の機能充実   |
|---|---------------------------------------|---------------------|----------------|----------------------|---------------------------|-----------------------|---|------------------------------------|--|
| スポーツクラブに通う私                               | 心身ともに健康にしたい                           | 身体と心の健康が必要          | 町の中での手助けボランティア | 新たな住民と長く暮らしてきた住民との関係 | 公民こえたネットワークづくり            | 家族ではどうにもならない問題は公が     | 介護保険制度の見直しと新制度の考査                                   | 心(精神面)の通う介護を目指して!                  | 税金多少上がっても、施設増えるなら良いと思う   |
| 健康を目指した私                                  | 生活習慣を維持して体力・気力の充実をはかるよう心掛ける           |                     | ボランティアもとても大切   |                      | 地域に密着した細かなサービスが必要         | 情報ネットワークづくり           | 介護する人を支える仕組み作り<br>介護という二文字からふれあいの大切さ                | 介護サービスを受けるときに当たり速やかに受けられるようになってほしい | まかなくても良いから行けば受けられるように  |
| 健康やケア必要この間の微妙なところを!                       |                                       |                     |                |                      |                           |                       |   |                                    | 夫婦のどちらかに何らかの障害が生じているかもしれないが、行政や地域の協力も得ながら家族で協力して解決していきたい                   |
| 夫婦とも70歳代となっているが、できるだけ自立的に暮らしたい            | 定期的な健康診断を受ける(行政の補助、あるいは無料診断が可能ならばベター) |                     |                |                      | 役所の縦割りを横へ期待する             | 相談に対応できる行政の体制がとられているか |   |                                    |  |
| 歩けるところは歩く。食べ過ぎない。日一回以上は汗をかく運動をする等、健康を維持する |                                       |                     |                |                      |                           |                       |   | 介護に関わる友人知人が増え支えあえている               | 情報   |
|   |                                       |                     |                |                      |                           |                       |   | 家族の負担を少なくしたい                       |  |
| <b>生き方・暮らし方</b>                           |                                       |                     | <b>家族</b>      |                      | <b>地域(住民)</b>             |                       | <b>生きがい 社会参加</b>                                    |                                    | 必要な介護が受けられるような体制が作られているのか①入所したい時に入所できる施設等が整備されているか②入院したい時に入院できる病院が整備されているか |
| 楽しく暮らしたい。住みやすい明るい場所                       | 民間団体が運営する健康増進施設増えている                  | 自分の10年後なかなかイメージできない | 老老介護の不安        |                      | 町会での居場所づくり(高齢者の)<br>居場所作り |                       | 夫は専門の仕事、妻は自立<br>友人を大切にしている私<br>再度興味ある大学(大学院)に通っている私 |                                    |  |
| ゆとりをもって外国の異文化を学ぶために旅に出ている未来               | ストレスをためないようにする・完璧でなくて良い考え方を身につける      |                     |                |                      | 地域密着型サービスの介護              |                       | 仕事はしていないと思うが、何らかの社会的活動に参加していきたい(NPO、地域活動など)         |                                    |  |
| 大学のボランティアと地域の活動をしている私                     | 健康管理に重点を置く                            |                     |                |                      |                           |                       |   |                                    |  |

【4班】

| 行政の方向性？   |  |                                  | 地域支援  |  |   |
|---|--|----------------------------------|---|--|---|
| 地域住民の変化<br>国際化<br>高齢化<br>少子化  | ・十年後介護のより良い内容<br>・病院入院システムの簡素化<br>・産院利用 特用病院に              | 果たして介護に携わる若い人が<br>充分いるのか？        | 記憶力・思考力の低下する独居<br>の人に対応する地域の連絡                    | 「寝たきり老人」を「寝かせきり老<br>人」にしないように健康者と同じ社<br>会環境の中に置く | 歩いて行ける所に情報・相<br>談・ボランティア・行政サー<br>ビスの場(サロン)がある |
| 税金の使い方によって福祉に大<br>きく影響  |  |                                  | 障害者を地域のお荷物として扱う<br>のではなく、全体で支えあらし<br>システムを構築して欲しい | 子供たちが身近にいないので、<br>何かあった時は日常的に近隣の<br>協力は得られるのか？   |   |
| ベビー用品業界の売上が伸びている<br>出生 1980年-158万人<br>2000年-117万人減少している<br>高齢者は増えているのにベビー用品、紙<br>オムツ等やベビー食が必要になり子供の<br>出生が減少しているのに、ベビー用品業界<br>の売上が増えている。10年前に年間70億<br>円であったが現在300億円 | 高齢の母のため、ランチ(メ<br>ニューが選べる)デリバリーサー<br>ビスがある                  |                                  |   |  |   |
| 健康維持  |  |                                  | 情報  |  |   |
| 健康維持のため、毎日の運動メ<br>ニュー(相談指導受ける)  | ・自分自身の健康管理をどうして<br>いくのか？<br>・気軽に健康チェックできる場が<br>あったら良い(保健所) | 市民カレッジ(老人大学)でたく<br>さんのメニューの講座を実施 | 高齢者版「新宿のHahaha倶楽<br>部」の発行 情報を行き渡らせる               | 介護のサービスが個人負担で受<br>けられるのか？                        |   |
| 自分の今後の身体状態が不安   |  |                                  | 介護・健康づくりの情報がいつ<br>も得られる場があるといい                    | 必要な人に必要な介護の手助け<br>を受けたい                          |   |

【5班】

| 自助                              |                                     |   | 健康  |                    |                                     |  | 介護   |   |
|---------------------------------|-------------------------------------|---|---|--------------------|-------------------------------------|--|--|---|
| 自助を支援する社会                       |                                     |   | (安心してスポーツのできる場の確保)                        |                    |                                     |  | 質の良い介護 介護保険の財<br>政基盤                         |   |
| 個人保険(自己責任による<br>保険)             | 健康づくりに<br>努力している<br>自分の健康は<br>自分で守る | 健康維持<br>・ラジオ体操<br>・ウォーキング<br>自己責任                                   | 健康で日常<br>生活を営み<br>たい                      | ピンピンこ<br>ろりが身<br>上 | 生活習慣病<br>予防<br>健康診断                 | 医療費を抑<br>制するため<br>の予防の充<br>実                       | 不足している<br>介護基盤の確<br>保                        | 介護をしている<br>家族が損を<br>しない仕組<br>老人ホームに<br>行くか家族の<br>世話になる  |
| 閉じこもりにな<br>らない高齢者               |                                     | 身体的健康の維<br>持  | 介護サー<br>ビスの向上<br>現役で介護<br>の劇に立っ<br>ていると思う | 健康診断の<br>充実        | 健康診断診<br>断の無料化<br>(受診者率の<br>向上)     |  |  |   |
|                                 |                                     |   |   |                    |                                     |  |  |   |
| 共 助<br>地 域                      |                                     |   | 住 居                                       |                    | (施設の解放)<br>施 設                      |  | 公 助  |   |
| (安心して住み続けられる地域)                 |                                     |   | 家庭内事故<br>居住スペースのバリアフ<br>リー化               |                    | (施設サービスの改善・増設<br>→無料化・利用率の向上)       |  | その他  |   |
| 豊かな地域で<br>の交流<br>支えあう社会<br>づくり  | 安心して地域<br>で住み続けら<br>れる              | 在宅福祉の推進<br>住み慣れた地域で<br>住み続けたい                                       |   |                    | 老人ホーム<br>(高くない地<br>域のための<br>施設にしたい) | 施設が死に<br>場所ではな<br>く、町の構成<br>要素<br>(ことぶき館の<br>確保など) | 年寄りを排除<br>しない施設づ<br>くり<br>利用料の無料<br>化        | 介護保険を<br>利用している<br>人の数が知<br>りた<br>経済的負担<br>格差の拡大<br>経済的支援<br>利用料が負<br>担できない<br>介護保険制<br>度のはざま<br>にいる人 |
| 近所近隣の人<br>との交流を通<br>じた健康の増<br>進 | NPO、ボラ<br>ンティアの推<br>進               | 団塊の世代の地<br>域ボランティア、地<br>域への帰帰<br>施設介護の要望<br>が強い<br>福祉人材の競争に<br>よる向上 |   |                    | 施設を生活<br>就労の場<br>にする                | 施設入所の<br>改善<br>施設の量的<br>確保(空施<br>設・空教室の<br>再利用)    | 地域で交流で<br>きる施設の確<br>保(地域セン<br>ター・スポーツ<br>施設) |   |

【6班】

| ＜10年後の私のイメージ＞        |                       |                    |                        |                          |                          |                         |  |
|----------------------|-----------------------|--------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|--|
| 介 護                  |                       |                    | 家 族・地 域                |                          |                          |                         |  |
| 社会保障の世話になっている        | 三世介護になっている(老々どころではない) | 若者も含め社会全体で介護を支えている | 一人暮らしでも在宅で頑張っている       | 夫婦が元気で暮らしている             | ボランティアが活発になっている          | 元気で家族や地域に参加したい(心も元気で)   |  |
|                      |                       | 家族の介護は限界           | 知的満足度が高まっている           | 心身ともに自立し介護を受けないで暮らしていきたい | 地域でボランティアを行っている(自分のためにも) |                         |  |
| ↓                    |                       |                    | ↓                      |                          |                          |                         |  |
| 指導者の養成(スポーツ等)必要      | セーフティネットの構築必要(医療・介護)  | 若者が介護を支える社会環境の整備   | 知的満足度を高めるための共同作業所が必要   |                          | 介護予防の機関や仕組みを作りたい         | 人格を尊重する(どんな状況でも)システムが必要 |  |
| ウォーキング等閉じこもりを防ぐ必要がある | トレーニング・リハビリ施設の充実      | 予防トレーニングが必要        | 生きがいがづくり(持つ)ことが必要、船旅など |                          | 声かけができる街にしたい             | 社会保障制度しっかり残して欲しい        |  |
|                      |                       |                    | 介護予防の研究・原因究明が必要        |                          | 地域での高齢者の視点が必要            | 町会や地域の活用・活性化が必要(地域の中核)  |  |
|                      |                       |                    | 専門的情報の入手方法が必要          |                          | 介護保険制度をしっかりと運用すべきだ       | 質の良いサービス、介護者の養成         |  |
|                      |                       |                    | 教育からスタートする必要           |                          |                          |                         |  |

まとめ

◎：本日は10年後を見すえた介護の課題を各班で整理していただきました。班の中には、解決策にまで踏み込んだ議論をされていたところもあるようです。

そこで次回は、まずこの課題に対する解決策を議論していただきます。次回までにお渡しした紙に皆さんの考えをまとめてきてください。

◎：皆さんで議論した課題に対して、どのように対応していくか、具体的な施策等、提言を話し合っていきたいと思います。

4 閉会

<次回日程>

- ・ 8月24日(水) 午後2時～

新宿区立障害者センター 会議室